

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	全国国立大学附属病院におけるCT撮影線量調査		
② 実施予定期間	2017年10月12日から2023年3月31日 (当院では倫理審査委員会承認後に開始します)		
③ 対象患者	④の対象期間中の診療時間内(夜間・休日を除く)にCT検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	対象期間と対象を希望しない場合の申し出期間は以下の通りです。 2017年11月13日～17日 2018年11月26日～30日 申し出は2019年3月31日まで 2019年11月18日～22日 申し出は2020年3月31日まで 2020年11月16日～20日 申し出は2021年3月31日まで 2021年11月15日～19日 申し出は2022年3月31日まで		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	全診療科		
⑦ 研究責任者	氏名	岩永 秀幸	所属 山口大学医学部附属病院 放射線部
⑧ 使用する情報等	全国国立大学附属病院(43施設)でCT検査を受けた患者さんの年齢、性別、身長、体重、撮影部位、撮影条件、逐次近似再構成の有無、CTDIファントムサイズを調べます。		
⑨ 研究の概要	<p>CT検査は患者さんへ治療や診断を提供できるという利益がありますが、その一方で、X線被ばくが必ず発生するという不利益があります。CT検査では少ない被ばくで医療に必要十分な画像を提供するよう放射線量を調整することが大切であり、これを「最適化」と言います。CT装置にはvolume CT dose index (CTDI_{vol})とdose-length product (DLP)という「放射線量の数値(線量指標)」が表示されます。最適化をより推し進めていくためには現状の線量指標のデータを詳しく解析することが必要です。本研究の目的は国立大学附属病院でCT検査を受けた患者さんの線量データの調査を行うことで実態を把握し、その結果を各病院にフィードバックすることです。</p> <p>全国国立大学附属病院(43施設)でCT検査を受けた患者さんの年齢、性別、体重、撮影部位、撮影条件を調べます。調べたデータを群馬大学医</p>		

	<p>学部附属病院放射線部に集約し、これを解析した結果を全国国立大学附属病院にフィードバックします。</p> <p>この調査研究によって線量の最適化や将来に向けた放射線安全管理への取り組みを加速させることが期待できます。またこれを足がかりに継続的な調査研究を展開することができれば、国民の医療被ばく線量の最適化に大きく寄与できる可能性があります。</p>			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 2月 25日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。			
⑮ 研究の資金源	群馬大学の委任経理金を用いて実施します。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺昌寛			
	電話	0836-22-2283	FAX	0836-22-2285